

# The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2012 Spring



巻頭特集

## ライオンズクラブの認知度と今後のPRについて

巻頭特集

# ライオンズクラブの認知度と今

本日は大石ガバナーと2012年度ミス・インターナショナル日本代表をはじめ、多方面でご活躍中の吉

330A 地区ガバナー

**大石 誠 × 吉松育美**

2012 年度ミス・インターナショナル日本代表

大石誠ガバナー(以下、大石G)  
吉松育美(以下、吉松)  
PR・情報委員会(以下、PR)

**PR)** 私たちが本日、話題にしたいのは、若者に対するライオンズクラブの認知度とPRについてです。私たちは活動を継続していくためには未来のメンバーにライオンズのことを知ってもらわなくてはなりません。そこで、若い世代の人のライオンズクラブに対する認知度が低いということが大きな課題だと思いますが、吉松さんはライオンズクラブのことをご存知でしたか。

**吉松)** 私は、以前は知りませんでしたが、先日、世界で最も大きな奉仕団体だと伺いました。

**大石G)** そうです。ライオンズクラブ国際協会は世界206の国及び地域にあり、135万人の会員で組織されている世界最大の奉仕団体です。私は、今期地区ガバナーという東京地区の代表なんですよ。

**吉松)** それは大きな団体ですね。また、本日は、大石ガバナーとお会いできてとっても光栄です。

私も今年ミス・インターナショナル日本代表として、女性による国際社会への貢献のために「平和と美の親善大使」として活動しているんです。社会貢献が目的の国際的な活動としては大きな共通点がありますね。

**大石G)** そうですね。ライオンズクラブは元々は経営者の団体でしたが、最近では、女性会員や家族会員を積極的に募集し、会員増強に力を入れています。もちろん、吉松さんのような若い世代も大歓迎です。

**吉松)** 私はOLもしていますが、私たちのような20代のOL世代はボランティア活動など社会貢献に対する意識は全般的にかなり高いと思います。しかし、私のようにライオンズクラブのことを知らないOLや若い世代の人がたくさんいるのはとても残念なことだと思います。

**大石)** そうなんです。私たちの活動を地域の皆さんに知っていただくために、一般の人たちに対するPR・広報活動にもっともっと力を入れていかなければいけないのです。



吉松 育美(よしまついくみ)

佐賀県出身 1987年6月21日生 24歳  
2012年度ミス・インターナショナル日本代表  
東京マラソン2012の注目選手として完走し  
東京タワー初代アンバサダーに就任するなど  
さまざまな分野で活躍中

# 後のPRについて

松育美さんにお越し頂きお話を伺い致しました。



撮影協力：アンドフォトカンパニー

**PR)** ちなみに過去の地区ニュースはこのようなものです。(吉松さんにご覧いただく)

**吉松)** ライオンズクラブは本当に幅広い奉仕活動を行っていますね。このような冊子で写真や文章で見られると、すぐに活動が理解できていいですね。私は携帯電話で情報収集していますので携帯電話などからも見られるようにして頂けたら嬉しいです。

**大石G)** そうですね。今後は若い人たちに活動を知ってもらえるように、もっと工夫をしていきたいと思います。

**大石G)** また、ライオンズクラブは無償の奉仕団体です。つまり、クラブの運営資金やアクティビティと呼ばれる奉仕活動の資金を全て自分たちで賄っているということもアピールしていきたいです。

**吉松)** そうなんですか。是非、みなさんにもっと知って頂けるといいですね。私もライオンズクラブのアクティビティに参加して、メンバーになれるようがんばります。

**大石G)** 吉松さんをメンバーとして迎えられる日を楽しみにしています。

PR・情報委員会：まずは委員長にお尋ねします。貴委員会では今期、どのような活動を目指しているのでしょうか？

#### 鶴ヶ谷正司委員長

青少年の育成や、レオの育成などはすべてライオンズクエスト活動に通じます。当委員会ではライオンズクエスト活動の啓もうと啓発活動に力を入れています。一年ではたくさんのことはできませんが、子どもたちを集めて“ツリークライミング”いわば“木登り”ですが企画しています。たかが“木登り”ですが、体験した子供たちは、とても喜んで生き生きとしています。自分の力だけでできることを体験して達成感を感じるのかもしれない。ライオンズクエスト活動について知っていただきたいと思います。



PR・情報委員会：ライオンズクエスト活動について教えてください。



#### 石井祐治副委員長

ライオンズクエストプログラムはアメリカで導入されたものなので、日本語で説明しにくいのですが、簡単に言うと、青少年、日本で言うと幼児と小学生から中学生くらいまでの子供たちを対象にしたスキルアップ活動です。一言でスキルアップといっても、将来、子供たちが社会において経験する様々な問題や、誘惑などに対応したり、自身が生きることにより前向きになり、しっかりとした人生を歩むためのサポート運動です。

PR・情報委員会：学校教育とは異なるのですか？

#### 萬屋裕副委員長

アメリカで導入されたプログラムの中には、学校の先生、すなわち教育者に対する教育プログラムもあります。子供たちの生きる力を“ライフスキル”と呼んでいますが、学校でそのような教育が行われているのでしょうか？、子どもの教育をすべて学校に丸投げしている親がいますが、果たしてそれで子供たちは健全に育ってくれるのでしょうか？そうした問題に取り組んでいる活動だと考えています。

PR・情報委員会：ライオンズクラブ国際協会が2003年に買い取ったプログラムだと聞きますが？

#### 萬屋裕副委員長

そうです。これらのプログラムは学校という教育施設の中で暴力沙汰まで起きているアメリカという国で開発されたプログラムなので、事情が異なる日本の学校教育にはマッチしないのではないかと考えているのは私だけではないと思います。この点をしっかりと検証する必要があります。



#### 蓮沼副委員長

一方、ライオンズクエストプログラムを導入している国は世界で70か国に達し、ライオンズクエストプログラムを導入した結果、プログラムに参加した生徒の成績がすべてにおいて良い結果に結びついているとの報告もありま



す。しかしながら日本では国際協会の認定機関であるJIYD (NPO法人青少年育成支援フォーラム)がこれまでに幾度もワークショップを開催していますが、330-A地区ではわずかに9クラブしかワークショップなどに参加していないのが実情です。

PR・情報委員会：LCIFの交付金申請を検討していると聞きましたが？

#### 蓮沼副委員長

ライオンズクエストプログラムを活用して運用するには費用がかかります。その費用をLCIFに申請して資金を得ることができるのです。4大交付金と言われる中でも大変重要視されている交付金なので、是非活用するべきだと思います。ワークショップで身に着ける教育者に対する教育は確実に実績を上げています。費用はかかるけれど、やればやっただけの成果があるわけですから、交付金などは大いに活用すべきです。



# ライオンズクエスト委員会レポート



PR・情報委員会：国際協会のライオンズクエスト活動実績を教えてください。

## 清口猛副委員長

国際協会のホームページでは、これまで66か国で1,200万人を超える青少年がライオンズクエストの教室に参加し、50万人を超える教育者などの大人が、学校や地域社会でライオンズクエストを実施するための研修を受けています。しかし、われわれの地区ではあまり実績がありません。これから実績を積み上げていかなければなりません。



PR・情報委員会：そうですね、地区内のほとんどのメンバーが良く理解していないような気がします。

## 石井祐治副委員長

ところが、日本では2003年にNPO法人青少年育成支援フォーラム(通称JIYD)がライオンズクラブ国際財団から、日本におけるプログラム実施団体として認定を受け、2009年にはLCIFから日本の各地区ライオンズクラブを経由して4,200万円余りの助成金を受け、日本各地でワークショップを開催し、ライオンズクエスト運動を実施しています。2009年は99回開催し、2,568名の教育関係者が参加し、2010年は107回開催され、2011年は97回開催されたと報告されています。

PR・情報委員会:JIYD(青少年育成支援フォーラム)について詳しく教えてください。蓮沼副委員長が話されたワークショップはJIYDが主催しているのでしょうか?

## 蓮沼副委員長

そうですね、ワークショップはJIYDが主催しています。この組織についてはあまりよく知られていません。むしろPR・情報委員会で調べてください。

## 鶴ヶ谷正司委員長

いずれにしてもこのライオンズクエスト活動は、国の将来を担う青少年の育成に大きな貢献が期待される非常に高度な教育サポートプログラムだと思います。我々のような単年度の委員会では活動に限りがありますが、次につながる活動をしたいと考えています。

PR・情報委員会：今日はありがとうございます。



## 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム(JIYD)の概要について: 同団体のホームページにて公開されている2010年度事業報告の中で

2010年度は教育関係者を対象とした2日間のワークショップを全国で107回開催し、2,678名が修了した。ワークショップのうち、特定の学校または特定の校区を対象とする校内型ワークショップが36回となり、ワークショップ全体の34%を占めた。校内型は、ワークショップ終了後、学校で組織的にプログラムが実践される可能性が高いため、それだけライフスキル教育が子どもたちに届く近道となる。プログラムを全校で取り組むモデル校は、2010年中に33校から44校と、11校増えた。と報告している。

また、2011年4月に就任したばかりの同団体理事長野村彰男氏は、就任のご挨拶として「当フォーラムの活動は全国に広がっています。とくに教室での実践につながる可能性の高い校内型ワークショップが大幅に増えていることが特筆されます。2011年の活動計画では、こうした状況を踏まえ、普及活動の「深化」を目指したいと考えます。ワークショップが先生方にどのようなインパクトを与え、教室での実践の結

果どういう効果が表れたか、といった点をアンケート調査などによって追跡し、今後の活動の充実につなげていきたいと考えております。」と述べている。

なお、同じく2010年度の決算報告(自2010年1月1日 至2010年12月31日)の経常収益として、ライオンズクラブ国際財団の四大交付金事業とされるライオンズクエスト事業に関わる助成金約4,888万円余りを含む助成金収入が5,387万円余りのほか、企業などからの寄付金収入が369万円余り計上されている。一方、ライフスキル教育普及事業、広報事業として事業費6,114万円余りと、管理費として1,076万円が経常費用として計上されている。

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム(JIYD)  
TTel. 03-3440-3373 Fax. 03-3440-4447 E-mail. info@jiyd.org

PR・情報委員会調べ

## 地区ITセミナーを開催

地区IT委員会



地区IT委員会は2012年2月10日(金)キャビネット事務局に於いて「ITセミナー」を開催した。セミナーの内容は「Eクラブハウスの利用について」330-MD ITPR情報委員会副委員長L藤村貞夫、「デジタルカメラ写真加工について」330-A IT副委員長L佐原幸雄「今どきのITについて」330-A IT委員L木下知紀「eMMR-ServannA 最新情報」330-A IT委員L荘英隆からそれぞれ説明があった。この日の出席者は約40名ほどでクラブ事務局員も多く参加し、熱心に説明を聞き、狭い会場は熱気にあふれた。中でも「国際協会のホームページにアクセスして必要な事項を入力するだけでクラブのホームページ作成が簡単ができる」ので、ホームページの無いクラブは参考にしてほしい。また、セミナーには元ガバナーのL宇田川雄弘らも参加し熱心に勉強していた。



## 会員維持セミナーを開催

地区会員維持委員会



地区会員維持委員会では2012年2月24日(金)AP八重洲に於いて「会員維持セミナー」を開催した。セミナーには約110名の地区内メンバーが参加し、熱心に講師らの話を聞いた。セミナーでは「大会防止対策について」L吉澤隆志(複合地区IT委員会委員、東京早稲田LC所属)が講演したほか、L阿部かな子(地区緊急対策委員会委員、東京ワンハンドレッドLC所属)やL宮澤公廣(地区指導力若手育成委員会副委員長、東京立川LC所属)、L長谷部明(東京福生LC会長)が事例発表を行った。



## 会員増強ワークショップセミナーを開催

地区会員増強委員会



2012年2月13日(月)スクワール麹町において地区会員増強委員会主催の会員増強セミナーが開催された。「ワークショップセミナー」では地区内各クラブからクラブの活性化に積極的なメンバーらに参加を促し、「会員増強」をテーマとして、少人数のグループに分かれて「会員増強を図るためのプロセスを深く掘り下げて議論」その後の質疑応答を経て「会員増強のエキスパートの育成と定着を目指す。(同委員会)」としている。この日集まった地区内のメンバーは約80名。真剣な議論が繰り返された。



## アイバンクセミナーを開催

地区献眼・献腎アイバンク委員会

2012年2月8日(水)AP西新宿に於いて「アイバンクセミナー」が開催された。セミナーには地区内のメンバーら約90名が参加したほか、大石ガバナーや国際協会の山浦辰暉国際理事、石井征二LCIFコーディネーターらも出席した。セミナーでは財団法人日本アイバンク協会常任理事で330-A地区元ガバナーの池崎道男氏が講師として紹介され、日本アイバンク協会の取り組みが紹介された。また、同財団の理事長で順天堂大学名誉教授の金井淳先生が角膜移植や献眼方法などについて講演した。



# 2011-2012年度MJF(メルビン・ジョーンズ・フェロー) 献金一覧表

2012年2月末日 現在

献金口数	クラブ	名前	回数	レート	献金額	合計	献金口数	クラブ	名前	回数	レート	献金額	合計		
1	10	新宿	L山浦 晟暉	102~111	81	\$10,000	¥810,000	49	1	新宿東	L井上一二三	21	78	\$1,000	¥78,000
2	5	新都心	L北村 昭子	54~58	81	\$5,000	¥405,000	50	1	八王子高尾	L松島 保	1	78	\$1,000	¥78,000
3	1	関東	L厚澤 弘陳	8	81	\$1,000	¥81,000	51	10	銀座	L山田 春雄	53~62	78	\$10,000	¥780,000
4	1	新宿	L和田総一郎	3	81	\$1,000	¥81,000	52	1	文京	L野口正二郎	10	78	\$1,000	¥78,000
5	1	ウィル	L小川 晶子	3	81	\$1,000	¥81,000	53	1	晴海	L脇村 孝友	4	78	\$1,000	¥78,000
6	1	練馬	L前田 信哉	2	81	\$1,000	¥81,000	<b>口数月計 14</b>		2012年1月		献金額計	\$14,000	¥1,092,000	
<b>口数月計 19</b>		2011年7月		献金額計	\$19,000	¥1,539,000	54	1	東京	L池崎 道男	2	77	\$1,000	¥77,000	
7	0.5	ウィル	L篠崎美千代	1	78	\$500	¥39,000	55	1	東京	L谷下 勝利	3	77	\$1,000	¥77,000
	0.5	ウィル	L篠崎美千代	(分割)	78	\$500	¥39,000	56	1	東京	L山根 淳子	2	77	\$1,000	¥77,000
8	1	葵	L伊賀 則夫	4	78	\$1,000	¥78,000	57	1	東京	L銅冶 英雄	1	77	\$1,000	¥77,000
9	3	町田	L戸田 周良	15~17	78	\$3,000	¥234,000	58	1	東京	L長谷川健治	1	77	\$1,000	¥77,000
10	1	数寄屋橋	L大石 誠	4	78	\$1,000	¥78,000	59	1	東京	L井上 正義	1	77	\$1,000	¥77,000
11	1	町田	L前田 平成	23	78	\$1,000	¥78,000	60	1	東京	L柿澤 未途	1	77	\$1,000	¥77,000
12	1	江戸川南	L蓮沼 建治	10	78	\$1,000	¥78,000	61	1	東京	L風間 敏英	1	77	\$1,000	¥77,000
13	1	江戸川南	L岩橋 孝男	9	78	\$1,000	¥78,000	62	1	東京	L木場 芳紀	1	77	\$1,000	¥77,000
14	1	関東	L厚澤 弘陳	9	78	\$1,000	¥78,000	63	1	東京	L児玉 幸子	1	77	\$1,000	¥77,000
15	1	関東	L伊藤希希子	7	78	\$1,000	¥78,000	64	1	東京	L間瀬 英紀	1	77	\$1,000	¥77,000
16	1	関東	L松山 行延	1	78	\$1,000	¥78,000	65	1	東京	L守田 寿	1	77	\$1,000	¥77,000
17	1	関東	L角田美智子	3	78	\$1,000	¥78,000	66	1	東京	L守時 光暉	1	77	\$1,000	¥77,000
18	1	関東	L守山 幸子	1	78	\$1,000	¥78,000	67	1	東京	L追原 篤男	1	77	\$1,000	¥77,000
<b>口数月計 14</b>		2011年8月		献金額計	\$14,000	¥1,092,000	68	1	東京	L坂下 賢三	1	77	\$1,000	¥77,000	
19	1	町田	L佐々木利和	11	77	\$1,000	¥77,000	69	1	東京	L柴田 博一	1	77	\$1,000	¥77,000
20	1	町田	L溝上 澄	5	77	\$1,000	¥77,000	70	1	東京	L杉山 憲司	1	77	\$1,000	¥77,000
21	10	銀座	L山田 春雄	43~52	77	\$10,000	¥770,000	71	1	東京	L戸張孝次郎	1	77	\$1,000	¥77,000
22	1	渋谷	L堀内 利夫	6	77	\$1,000	¥77,000	72	1	東京	L山口 誠	1	77	\$1,000	¥77,000
23	1	関東	L厚澤 弘陳	10	77	\$1,000	¥77,000	73	1	東京	L小越 信良	1	77	\$1,000	¥77,000
24	1	国分寺	L渡辺 才司	1	77	\$1,000	¥77,000	74	1	東京	L須山誠一郎	1	77	\$1,000	¥77,000
<b>口数月計 15</b>		2011年9月		献金額計	\$15,000	¥1,155,000	75	1	東京	L浜本 正信	1	77	\$1,000	¥77,000	
25	1	葛飾	L奥山 貞夫	14	77	\$1,000	¥77,000	76	1	東京	L長谷川貴子	1	77	\$1,000	¥77,000
26	1	町田	L義澤 一孝	17	77	\$1,000	¥77,000	77	1	東京	L犬丸 徹郎	1	77	\$1,000	¥77,000
27	1	新宿	L畦地 秀明	3	77	\$1,000	¥77,000	78	1	東京	L加藤 光晴	1	77	\$1,000	¥77,000
28	1	北	L松村 憲	1	77	\$1,000	¥77,000	79	1	東京	L剣持 智宏	1	77	\$1,000	¥77,000
29	1	目白	L東井 忠弘	3	77	\$1,000	¥77,000	80	1	東京	L神部 範生	1	77	\$1,000	¥77,000
30	1	大森	L松田 貞男	4	77	\$1,000	¥77,000	81	1	東京	L小泉 駿一	1	77	\$1,000	¥77,000
31	2	江東	L吉澤 一彰	1,2	77	\$2,000	¥154,000	82	1	東京	L溝口 文穂	1	77	\$1,000	¥77,000
32	4	数寄屋橋	L大石 誠	5~8	77	\$4,000	¥308,000	83	1	東京	L森田 康雄	1	77	\$1,000	¥77,000
33	1	江戸川南	L谷口 勝己	10	77	\$1,000	¥77,000	84	1	東京	L中澤 彦七	1	77	\$1,000	¥77,000
34	1	江戸川南	L井桁 秀夫	11	77	\$1,000	¥77,000	85	1	東京	L岡田光一郎	1	77	\$1,000	¥77,000
<b>口数月計 14</b>		2011年10月		献金額計	\$14,000	¥1,078,000	86	1	東京	L清藤 太郎	1	77	\$1,000	¥77,000	
35	5	八王子陸東	L石井 征二	14~18	77	\$5,000	¥385,000	87	1	東京	L篠崎 良子	1	77	\$1,000	¥77,000
36	20	成城	L中村 善子	33~52	77	\$20,000	¥1,540,000	88	1	東京	L淡輪 俊	1	77	\$1,000	¥77,000
37	5	田無	L塩月藤太郎	2~6	77	\$5,000	¥385,000	89	1	東京	L歌田 勝弘	1	77	\$1,000	¥77,000
38	1	鶯谷	L藁谷 和家	17	77	\$1,000	¥77,000	90	1	東京	L山本 和夫	1	77	\$1,000	¥77,000
39	1	関東	L厚澤 弘陳	11	77	\$1,000	¥77,000	91	1	東京	L山下 一明	1	77	\$1,000	¥77,000
40	1	鶯谷	L金澤萬二郎	1	77	\$1,000	¥77,000	92	1	東京	L本馬和歌子	1	77	\$1,000	¥77,000
41	5	中野	L宇田川直子	24~28	77	\$5,000	¥385,000	93	1	東京	L菅原 初義	1	77	\$1,000	¥77,000
42	1	中野	L田中 淳正	14	77	\$1,000	¥77,000	94	1	東京	L齋藤 徹	1	77	\$1,000	¥77,000
43	1	江戸川南	L今野 三雄	3	77	\$1,000	¥77,000	95	1	八王子高尾	L林 伸彦	1	77	\$1,000	¥77,000
44	1	江戸川南	L田中 邦明	1	77	\$1,000	¥77,000	96	1	豊島西	L今田 妙子	3	77	\$1,000	¥77,000
45	1	江戸川南	L小山 信光	4	77	\$1,000	¥77,000	97	1	玉川	L野々 晴久	1	77	\$1,000	¥77,000
<b>口数月計 42</b>		2011年11月		献金額計	\$42,000	¥3,234,000	98	1	江戸川東	L茅島 純一	1	77	\$1,000	¥77,000	
46	2	巣鴨	L長島 眞	4,5	78	\$2,000	¥156,000	99	2	江戸川東	L御厨 正敬	4,5	77	\$2,000	¥154,000
47	1	江戸川中央	L岩橋 邦雄	7	78	\$1,000	¥78,000	<b>口数月計 47</b>		2012年2月		献金額計	\$47,000	¥3,619,000	
48	1	八王子高尾	L原田 純子	9	78	\$1,000	¥78,000	<b>口数月計 4</b>		2011年12月		献金額計	\$4,000	¥312,000	

※ライオンズクラブ国際協会に報告されているeMMR-ServannA(サバナ)の内容に基づきます。





## 被災地支援のチャリティイベントに各地から応援

3月11日

東京新都心LC

東京新都心ライオンズクラブでは2012年3月11日(日)“忘れられない日”となった東日本大震災被災者を支援するためのチャリティイベントを新宿中央公園で、地元新宿区西新宿の角三町会とともに開催した。同クラブでは当初、被災地に障害者用福祉車両を寄贈する計画を立て、この資金を獲得するためクラブ独自でチャリティバザーを企画したが、新宿という立地で比較的広い会場(中央公園の噴水前広場)が確保できたため、共同開催クラブを募ったところ、各地から申し込みがあり大きなイベントとなった。会場ではチャリティバザーのほかにも、新宿区や東京消防庁の協力で、地震の揺れを体験できる地震体験車や、煙ハウスで火災時の不自由さを体験したほか、消防用ホースを持つての消火放水体験も実施され、大人も子供も災害時の大変さを感じた。地元町会では、角筈地区青少年育成委員会・児童館・こども園・西新宿小学校の応援を得て焼きそば、フランクフルト、綿あめなどの販売をするなど、通りかかった一般の方が楽しめる楽しいイベントになった。会場には約3,000名の人々が訪れ、支援活動に声援を送った。バザーの売り上げは予想を上回り、同クラブ会長L池田謙司は「これで被災地に福祉車両を贈ることができる、今後も支援を継続したい」と語っていた。その他イベント参加団体:財団法人オイスカ、東京江戸川東ライオンズクラブ、東京みやこライオンズクラブ、東京ワンハンドレッドライオンズクラブ、東京平成ライオンズクラブ、東京世田谷ライオンズクラブ、東京葵ライオンズクラブ、東京数寄屋橋ライオンズクラブ、東京蒼天ライオンズクラブ、東京21世紀ライオンズクラブ、ライオンズクラブ国際協会332、333、334、複合地区有志メンバー他。



## 被災地の大船渡市に自転車を寄贈

東京調布LC

東京調布ライオンズクラブでは、昨年の東日本大震災直後から駅前街頭募金活動を実施して集まった募金に、クラブの積立金を加えた約200万円の支援金を、同クラブメンバーが観光大使を務める岩手県大船渡市に直接届けた。その際に支援を受けた大船渡市長ほか大船渡ライオンズクラブや現地のNPO法人“夢ネット大船渡”などと話しあい、現地からの要望により自転車を寄贈することとなった。同クラブではメンバーの調布市長とも相談し、市内で違法駐輪などで廃棄された自転車を同市内のシルバーボランティアの方たちに修繕・整備を依頼して、毎月20~30台の自転車を届けてきた。これまでに160~170台寄贈して大船渡市内の公民館やコミュニティセンターなどで大変喜ばれている。同クラブでは引き続きさまざまな支援を続けていくとのこと。



## 3年ぶりに新会員を迎える

2月3日

東京千代田LC

東京千代田ライオンズクラブは、このほど2名の新入会員を迎え入れた。入会式が行われたのは同クラブが例会場としている、丸の内の高層ビルが立ち並ぶ中の大手町ファーストスクエア23階にあるレストラン、「宴」。この日入会したメンバーの一人はメディア関係の仕事をする39歳で、クラブでは一番若い。もう一人の弁護士を職業とする新会員と共に今後の活躍が期待される。同クラブでは、来る2012年5月18日にチャーターナイト50周年を迎えるとのことで同クラブの芳澤幸男会長は「会員増強にも貢献できたい、お二人の活躍が楽しみで、大変うれしい」と話している。また、同クラブの50周年記念例会は今年リニューアルオープンする「パレスホテル」で行われる。現在、東京千代田ライオンズクラブは会員数が17名、うち女性会員は5名。また、昨年地区ニュースでもインタビューした95歳の東野Lは、今も現役で例会にも100%出席しているという。



## 三クラブ合同例会を開催

2月8日

東京築地LC、東京晴海LC、東京築地市場LC

2012年2月8日(水)中央区晴海のホテルマリナーズコート東京にて東京築地LC、東京晴海LC、東京築地市場LCの三クラブ合同の例会が行われた。今年の幹事クラブは東京晴海LC、この日は三クラブで合計約50名のメンバーが参加した。例会では三クラブの会長があいさつし、毎年、新年のニュースとなる“大間のマグロの初セリ値”や“築地市場の移転の話題”など土地柄ともいえる話題で盛り上がった。この三クラブ合同の例会は親クラブ、子クラブの関係で「今年で8年目」「いやいやもう20年くらい続いている」など諸説があるが、かなり長い期間行われているのは間違いないようで、参加メンバーは皆さん、気心が知れているようでとても楽しそうな雰囲気が漂っていた。この日の合同例会では晴海クラブメンバーのL脇村孝友の同級生で蝶花楼馬楽(ちょうかりょうばく本名奥島吉隆)さんが“長屋噺”と言うネタと舞踊を披露し、参加メンバーを喜ばせた。



## クラブを紹介する広報誌「フレンズ」を作成して配布

東京武蔵野LC

東京武蔵野ライオンズクラブではこのたびクラブの活動を紹介する広報誌「東京武蔵野ライオンズクラブ・フレンズ」を発行した。同クラブではこの広報誌(A3裏表)を約15,000部ほど印刷し、武蔵野地区の日本経済新聞約10,000部に織り込んだほか地元の法人会を通じ武蔵野、三鷹、小金井の各市の法人会員らに配布した。チラシの制作を担当した同クラブのPR・IT委員会委員長のL永生芳樹は「クラブの活動を広く知ってもらい、会員増強につながると嬉しい」と語っている。クラブの紹介誌を新聞折り込みして宣伝した例は珍しく、近隣のクラブからも評価が上がっている。



## 47周年記念合同例会を開催

2月17日

東京八重洲LC

2012年2月17日東京八重洲ライオンズクラブは、銀座中央通りの資生堂ビル内の著名なレストラン「ファロ資生堂」に於いて、同クラブの47周年を記念する合同例会を親クラブとなる東京京橋ライオンズクラブ並びに姉妹クラブの横浜みなとみらいライオンズクラブと共に開催した。合同例会には約50名のメンバーらが参加してレストランの料理を楽しみ、メンバーらが持ち寄った品をオークションで販売して奉仕活動に充てる資金を集めた。東京八重洲LC会長L藤野善修はあいさつで「昔のクラブ会報誌をみて懐かしく感じた、先輩ライオンが語っていたように、親クラブとはゾーンが異なるので一緒に活動できる機会が無かったが、いつか実現したい。」と話していた。また、この日は記念講演として、同クラブのチャーターメンバーL大井田修(木場病院名誉理事長院長医学博士1929生)が、季節がら「インフルエンザに関する知識」と共に同じチャーターメンバーであったL山田茂三郎(物故)の思い出話を披露した。さらにこの日はアトラクションとして日本ギターコンクール第2位、デュオ部門優勝、イタリア・ガルニャーの国際ギターコンクール第2位のギター演奏



者「山田岳」さんのクラシックギター演奏を楽しんだ。また、2リジョンRCで同クラブ所属のL小山哲也も「今日は、ブータン国にも負けにくいくらい幸福度を感じる素晴らしい記念例会だった。」と喜びを表明していた。この日、オークションで集まったドネーションは254,000円と報告された。今後の活躍が期待される。



## 「がんばれ東北の子供たち!」チャリティコンサートを開催

2月4日

東京小金井LC

2012年2月4日(土)、東京小金井ライオンズクラブは、地元の小金井青年会議所、国際ソロプチミスト東京-小金井、東京小金井さくらロータリークラブ、東京小金井ロータリークラブと共に「がんばれ東北の子供たち!」と題した藤原真理チャリティチェロコンサートを開催した。コンサートの収益金はすべて東北の子供たちを元気づけるため、震災の影響で、昨年夏の全日本学童軟式野球大会に参加できなかった宮城県の少年野球チームを招き、全国的にも知られる地元小金井の少年野球チームと対戦する機会を設けたり、被災地にある学校の音楽活動に役立ててもらうため、フルート、クラリネット、リコーダーなどの楽器を寄贈するという。コンサートには約600名の関係者らが集まり、演奏者に盛んに拍手を贈っていた。祝辞を述べた小金井市長も「地元の奉仕団体の中でも力のある5団体が協力し合って開催されるこうしたチャリティーコンサートはとても意義のあることで市としても大いに歓迎したい」と話していた。



## 家族例会で新入会員を迎え入れる 2月5日

東京横田LC



東京横田ライオンズクラブは2012年2月5日(日)横田市内の同クラブ事務局となりの“高山園”にて家族例会を開催した。家族例会では“お餅つき”で15kgものお餅をみんなでついたほか、メンバーが持ち寄ったトン汁やお菓子がふるまわれた。さらに、この日ついたお餅はデイケアサービスを行っている市内の福祉施設「かあさんの家」にも届けられた。また、この日の家族例会では新入会員として、座禅など日本の文化に触れることが好きなイタリア国籍のマッティオ・マルティーニさんが入会し、子どもたちの人気を呼んでいた。



## “環境フェスタくにたち”“賽の神どんと焼き”を支援 1月9日

東京国立LC



東京国立ライオンズクラブでは、市民、事業者、行政がごみ問題や環境問題を共に考えるイベントとして平成11年から始まり、今年で13年目を迎える“環境フェスタくにたち”に、環境に熱心な市民団体や、国立市、商工会などと共に参加し、チャリティ事業として、焼き団子、フランクフルト、切り餅の販売を行った。また、2012年1月9日(月)には国立市内の公園で行われた“賽の神どんと焼き”この催しは“五穀の守り歳神様をお送りして五穀の豊年を祈り、まゆがたくさんできるようにとの願いを込めて、お団子を眉の形に作ったものを焼いて食べる”というイベントで、同クラブではメンバーが一丸となりイベントを主催した。

環境に熱心な市民団体や、国立市、商工会などと共に参加し、チャリティ事業として、焼き団子、フランクフルト、切り餅の販売を行った。また、2012年1月9日(月)には国立市内の公園で行われた“賽の神どんと焼き”この催しは“五穀の守り歳神様をお送りして五穀の豊年を祈り、まゆがたくさんできるようにとの願いを込めて、お団子を眉の形に作ったものを焼いて食べる”というイベントで、同クラブではメンバーが一丸となりイベントを主催した。



## 30年に亘り、日赤に協力して献血活動を支援 1月24日

東京三田LC



東京三田ライオンズクラブは、昭和58年1月24日以来30年にわたり継続している献血活動支援アクティビティを、今期も、年間2回、決めている7月の第4火曜日と1月の第4火曜日に実施した。場所は、毎回港区三田1丁目の三田国際ビル脇に、日赤から献血車3台予備車1台、医師3名、看護師7名、日赤職員8名、二隻奉仕団夫人メンバー10名、東京三田ライオンズクラブメンバー全員が参加して行われた。毎回同クラブでは、献血実施日の1週間前から三田国際ビル内の各企業を訪問して、献血への協力を要請している。献血当日は受付事務を代行、さらに献血者(ドナー)には粗品を贈呈している。今年1月24日(火)の実績は、献血者154名(希望者176名)採分量は59,200ccだった。同クラブメンバーの協力で毎回同程度の実績があるという。



## 障害者支援チャリティバザーを開催 1月14日

東京玉川LC



東京玉川ライオンズクラブでは2012年1月14日(土)都内世田谷区奥沢の九品仏 浄真寺参道に於いて毎年開催される“新春餅つき大会”にて“障害者支援チャリティバザー”を開催した。この日、会員提供の品物のほか、障害者施設のクッキー、焼き菓子をその作業所の方と一緒に安価で販売し、支援活動の資金を募った。さらに会場ではクラブ名入りのクッキーも販売して、ライオンズクラブの活動PRも実施した。100円均一コーナーなどは大人気で、大変な賑わいとなり来場者は約3,000名とのこと。参加メンバーは13名、ほかにもメンバーの関係者ら7名がチャリティバザー協力者として手伝った。



## 調布学園の子供たちをキッズニアに招待 11月12日

アミューズメントパークで職業体験

東京調布LC



東京調布ライオンズクラブは2011年11月12日(土)調布市内にある調布学園の6年生(小学生)全員(13名)を、中央区豊洲にあるキッズニア東京に招待した。キッズニア東京では様々な職業体験ができるアミューズメントパークで、子供たちに大人気のスポット。同クラブメンバー5名が、身寄りのない子供たちの親代わりとなり引率した。休日の予約を取る事が大変困難な施設で、同クラブのメンバーが手配した。調布学園からも付き添いの先生2名が参加し、子供たちは携帯電話を借りたり、サッカーの技術を専門のコーチから受けたり、ピザ造りに参加したりして一日楽しんだ。



## 年に2回築地本願寺にて献血活動を実施

東京築地市場LC

東京築地市場ライオンズクラブは1966年の結成からすでに46年目を迎え、結成当時は築地市場内の仲買商らで構成されていた当時から比べると、世代交代もありメンバー数も減少し、現在は12名の会員と6名の家族会員で構成されている。平均年齢も75歳を超えるが、今でも元気で仲良く運営され、毎年10月と5月には



築地本願寺にて日本赤十字社と共に献血者の呼びかけを行っているほか、地元の敬老会や東京湾華火大会への協賛、朝日新聞関係団体を通じた震災寄付、あしなが育英会への寄付などを行っている。また、今年の初めての例会は築地の「治作」に於いて“新年例会”を開催した。例会では芸者の日本舞踊や、メンバー夫妻の三味線や舞などを楽しんだ。みんな元気に新年を迎え、ますますの活躍を誓い合った。

## フットサル大会を主催するなど青少年育成に貢献

東京吉祥寺LC



東京吉祥寺ライオンズクラブでは武蔵野市教育委員会の後援と武蔵野青年会議所、武蔵野市サッカー協会の特別協賛を得て武蔵野市内のサッカーチームなどを対象に「武蔵野元気フットサル大会」(8回目)を主催した。大会には武蔵野市内の10チームが参加し、決勝リーグは上位4チームで行われた。同クラブでは「武蔵野の未来を託す子供たちには、健全な心、身体と礼儀を通じてチームワークの中から友情と感動が生まれる体験をしてほしい」として、活動に力を入れている。過去の大会には「なでしこジャパン」のメンバー岩淵真奈さんも参加したという。また、「子供たちの真剣にゴールを目指すまっすぐな気持ちや、ミスをかばってみんなで協力する姿は大人にも感動と勇気を与えてくれる」として、「こんごも吉祥寺ライオンズクラブはWe Serveの精神で地域活動を応援したい」(同クラブ会長L川俣貴三雄)と語っている。吉祥寺ライオンズクラブではこのほか、フィリピンの少年たちに中古の野球道具を寄贈したり、井の頭公園の池で増えている外来種の魚についても、その害や種類について学ぶ機会を提供しているほか、公園の池の浄化についても取り組んでいる。

## 第26回青少年レスリング選手権大会を主催 2月11日

東京新宿LC



東京新宿ライオンズクラブは、毎年主催している「東京新宿ライオンズクラブ旗争奪・第26回青少年レスリング選手権大会」を開催した。毎年行われている大会は、今年も全国青少年レスリング

連盟、財団法人スポーツ会館の後援を得て2012年2月11日新宿区内のスポーツ会館にて、都内近郊の42クラブ361名の選手(小学生、幼児)が参加して各クラブ団体戦が行われた。会場には選手らの、父兄や家族、レスリング関係者ら約800人が観戦し、熱心に声援を送った。会場では、勝って喜ぶ子供もいるが、負けて悔し涙を流す選手を親やコーチがはげます姿も見られ、選手たちの懸命さに心を打たれたという。同クラブでは「青少年の健全育成に貢献し、今後も応援したい」(クラブ会長L渡辺益弥)と語っていた。



## “新春の集い”を開催、サポーターから会員へ 12月20日

東京東村山中央LC



東京東村山中央ライオンズクラブでは2012年2月19日埼玉県所沢市のセレス所沢に於いて“新春の集い”を開催した。メンバー数が11名と決して多くない同クラブでは「地域の皆様の支え・理解が何より大切」とのことでライオンズク

ラブについて知っていただく機会をつくらうとの趣旨から地域のお客様85名を招待して企画された。同クラブにはすでにクラブサポーターとして6人の方が登録されているようで、将来ライオンズクラブメンバーになることが期待されるとのこと。今年の“新春の集い”に於いても同クラブの奉仕活動に興味を持ち、新たに数名の方がサポーター会員になったとのこと。参加者は津軽三味線軍団(三浦良宝先生)の演奏を楽しんだ後、ボーイスカウトの支援や少年野球への支援活動が関係者から伝えられ、同クラブではこうした青少年育成活動や献血活動、防犯パトロール活動などにも取り組んでいる。



## 献血協力運動とゲートボール大会を実施

東京東大和LC

東京東大和ライオンズクラブ(L平光正則会長)では毎年3月、6月、10月に東大和にあるイトーヨーカドーの店頭にて西東京赤十字社の献血運動に協力している。今年も同クラブの献血委員会(L半貴正治委員長)が実施した。また、同クラブでは毎年3月に桜ヶ丘市民運動場で高齢者を中心とした東大和市内のゲートボールチームで競い合う「ライオンズクラブ杯ゲートボール選手権大会」を主催している。第23回となる今年も25チーム150名余りが参加して行われ、優勝チーム、準優勝チームら成績優秀チームに記念品などが贈られた。



## ラオスの学校に教材を贈呈 2月11日

東京神宮LC、東京中央南LC

平成24年2月11日(土)3R3Z東京神宮LCと7R1Z東京中央南LCは、両クラブの共同アクティビティとして三年前小学校を建築した、ラオス国カムアン県ボンソン村を再び訪れ小学校の生徒達に教材等を贈呈した。両クラブメンバーは、一年に一回は現地を訪れている。当日は、何度も訪れている校庭に全校生徒、村の皆さんに日の丸の旗を振る歓迎を受け再会した。歓迎式の冒頭に両クラブを代表して、神宮ライオンズクラブL竹内会長は、「一年ぶりに訪れ生徒達が大変成長している事をうれしく思う。去年、日本も大きな震災にみまわれ国民をはじめライオンズメンバーも復興に力を注いでいる。ラオスの子供達と日本の子供達の架け橋となるべくこれからも支援していきたい」と語った。またこの日、ラオス国教育庁局長が訪れ両ライオンズクラブの支援に感謝するとともに「子供達への教育により力を注ぎ、ラオス国発展への礎としたい」と述べた。両クラブはこれからも支援を続けていく。



## 地元の小学生が育てたお米で餅つきを 2月23日

東京秋川LC



東京秋川ライオンズクラブは地元の五日市小学校の生徒に「食文化の継承」としてお米作りを数年間指導している。同クラブが姉妹クラブとして交流のある宮城県栗原市の志波姫ライオンズクラブ(332-C5R-2Z)の紹介で南三陸志津川ライオンズクラブ(332-C4R-3Z)とも交流ができ、見舞金や義援金を贈り復興を支援してきたが、このたび五日市小学校の生徒が作ったお米で被災地の志津川小学校で「餅つき」を体験してもらおうと計画して、実施した。2012年2月23日(木)朝、同クラブメンバーら20名が米や臼、杵などの餅つき道具を車に積み込み出発し、約9時間半かけて現地の南三陸志津川小学校に到着した。被災地の視察後、志波姫クラブ、志津川クラブと共に三クラブ合同例会を行った。翌2月24日(金)早朝から志津川小学校にて同校の生徒、父母らと共に「餅つき」を行った。出来上がったお餅は同小学校の生徒や職員、関係者に配って大変喜ばれた。同クラブでは今期のスローガン「快汗でWe Serve」を実感できる活動だったと喜んでいる。



## 第28回鮭の稚魚放流会に協賛

3月3日

東京江東南LC

東京江東南ライオンズクラブは、「青少年育成と隅田川の水質浄化など環境対策の観点から」「隅田川鮭の会」が主催する「鮭の稚魚放流会」を過去10年間継続して協賛している。今年も2012年3月3日(土)東京都江東区越中島にある東京海洋大学越中島キャンパスにて「第28回鮭の稚魚放流会」が開催され、近隣各区の幼稚園児や小学校の学童のほか一般の人約400人が参加して盛大に行われた。挨拶に立った隅田川鮭の会会長柳澤弘道氏や東京海洋大学学長松山優治氏の話によると、「昨年、東日本大震災でふるさと岩手県山田地区が被害を受け、開催が危ぶまれたが、28年にわたり続

いている事業なのでぜひ続けてほしい」との要望があった話や「鮭はその習性として必ず生まれた川に戻り、産卵してその子がまた海に行く」などの話に子供たちも熱心に聞き入っていた。子供たちは消防署員のガードに見守られながらライフジャケットを着用して、各幼稚園、学校ごとに稚魚の放流に参加して「放流証」をもらい大感激!とても貴重な体験をした。また、放流会では「山田境田虎舞保存会」による「虎舞」が披露され、盛んに拍手を浴びていた。さらに被災地の山田町の物産展も開催され「今年は被災地の支援活動にもつながる意義のある活動になった」と同クラブメンバーが語っていた。



## クラブ名称を変えて再出発

東京代官山LC

東京代官山ライオンズクラブ(旧東京スピリッツ21ライオンズクラブ)は第6回を迎えた「ひまわりガーデン東京代官山坂」に対し第1回目から支援している。この活動がきっかけとなりクラブの名称をこのたび「東京代官山ライオンズクラブ」に変更し、国際協会の承認を得た。去る2011年9月10日(土)南国酒家迎賓館に於いて地区内9リジョン、10リジョンのメンバーらに呼びかけ名称変更記念例会を開催した。オペラ歌手小林真美子さんの独唱やマジック、ベリーダンスなどで楽しんだ。



## 事務局を移転して活発に活動

2月27日

東京清瀬LC

東京清瀬ライオンズクラブは2012年2月27日クラブ事務局を西武線の「清瀬駅」近くに移転し、このたび関係者らを招いて「新事務所開設祝い例会」を開催した。同クラブは現在会員16名だが新事務所移転と共に事務局員やサポート会員3名を加え、地元の防犯運動に協力している。中でも「ホテル観賞の夕べ」や「曼珠沙華まつり」などのほか、青ハトにて市内の巡回パトロールを実施している。今後の活躍が期待される。



## 年4回の献血活動のほか植樹や視覚、知的障害者支援を継続

3月7日

東京浜町LC

東京浜町ライオンズクラブは、年に4回(以前は6回実施)の献血活動を日本赤十字社と共に中央区内のそれぞれ異なる場所で実施している(日本橋女学館前、久松警察、日本橋保健センター、東実健保会館)ほか、中央区立浜町公園内に「紅しだれ桜」と「柳」を1999年に3本と1本寄贈して以来、ほとんど毎年のように継続して植樹を続け、すでに区内の名物となり区報などでも紹介されている。さらに2008年からは中央区視覚障害者福祉協議会に寄付を続け、2009年からは中央区立知的障害者生活支援施設「レインボーハウス明石」には施設内の設備を寄贈したり、職員や障害者らの旅行に協賛している。また、新たな取り組みとして中央区立坂本小学校において、視覚障害者などの演奏家を招き、児童に感動を与える「バリアフリーコンサート」にも協賛している。同クラブの例会は毎月第二、四火曜日にロイヤル



パークホテルにて行われており、クリスマス同伴例会、さよなら例会、見学同伴例会などが行われる。PR・情報委員会が取材した3月7日(火)の例会には20名のメンバー中15名が出席し、昼食を介してメンバーの意見、情報交換やテールツイスターの時間にはメンバーがマジックを披露して種明かしをするなど、シンプルな例会運営ながら参加メンバーは十分、仲間とのひと時を楽しんでいた。48年の歴史と伝統を守りながらも地道な奉仕活動が続けられている。今後も大いに活躍が期待される。

# 2012 主要行事日程表

## キャビネット会議

- 第3回 2012年3月21日(水) AP 西新宿 ・会議 ※キャビネット構成員
- 第4回 2012年6月11日(月) 東京プリンスホテル ・会議・懇親会 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員

## 国際大会

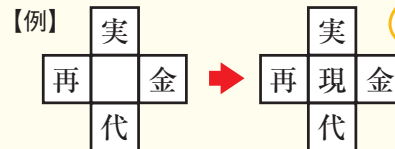
- 第95回国際大会 2012年6月22日～26日 韓国・釜山市

## 年次大会

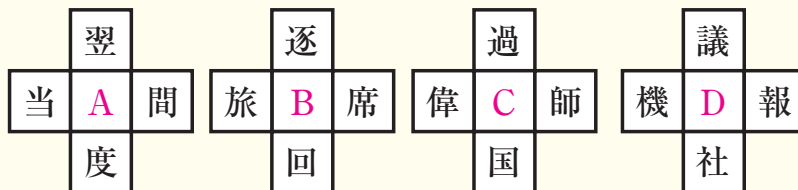
- 330-A地区(第58回) 2012年4月21日(土) 東京プリンスホテル
- 330複合地区(第57回)2012年5月13日(日) 浦和ロイヤルパインズホテル

## 懸賞コーナー クロスワードとアンケートに答えてワインがもらえる

十字の中央のA、B、C、Dには、周りの漢字それぞれと二字熟語ができる漢字一文字が入ります。最後に、中央に入る4つの漢字(A、B、C、D)で出来る4文字の熟語を答えて下さい。(熟語は上から下、左から右とします。)



この賞品が  
あたる!



【答え】



(ヒント)2012年4月21日東京プリンスホテルで開催されます。

### 応募方法

正解者の中から抽選で10名の方にワインを差し上げます。抽選の発表は次号です。

【締め切り】4月25日(当日消印有効、メール、FAXは送信日付当日まで)

【応募資格】地区内メンバーでサバンナeMMR登録者一人一週に限りです。

【あて先】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-10-17

新宿ダイカンプラザB館2F 地区ニュース懸賞係

【メール】pr@playtown.net 【FAX】03-5330-3370

◆メールまたはFAXに解答および地区ニュースに対しての読者アンケートにお答えください。郵便番号・住所・氏名・電話番号・RZ・所属クラブ・年齢もお忘れなくお願いします。

\*ワインはオーストラリア産赤スパークリングワインを地区内メンバーからのドネーションによりPR情報委員会で用意しました。

ドネーション者氏名：青少年育成・レオ・ライオンズクエスト委員会委員長 鶴ヶ谷正司、副委員長、委員一同

### 【第2号の答え】震災復興

【第2号の当選者】高橋昌幸(東京新都心LC)、大塚和広(東京江戸川東)、松尾昭俊(東京立川LC)、芳須保行(東京小金井LC)、吉田實(東京文京LC)、笹川邦子(東京清瀬LC)、藤村貞夫(東京三軒茶屋LC)、以上おめでとうございます。賞品は発送しました。

### アンケート

◆クイズといっしょにアンケートにもご協力ください

■今号の地区ニュースSpring号はいかがでしたか？

- Q1. 面白かった記事は？ その理由は？
- Q2. つまらなかった記事は？ その理由は？
- Q3. 今後載せて欲しい記事は？ その理由は？
- Q4. その他ご意見などお書きください。

### つぶやき

#### ◆ミスコンといえば◆

世界の3大ミスコンって知ってますか。ミスワールド、ミスユニバース、そしてミスインターナショナルです。そのミスインターナショナルの日本代表の吉松さんにガバナーと2人で表紙を飾っていただきました。

3大ミスコンに共通する理念というのが、国の代表や優勝者になった人はチャリティーなどの活動を通して、社会に貢献することだそうです。ミスコンの優勝者が社会に貢献する姿は、世の中が明るくなるし、停滞した経済も良くなりそうな気がします。

ライオンズの理念に「我々は知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い…」とありますが、そこに「我々は美しく、」を加えたらもっと多くの共感をよべるかもしれませんね。ライオンズクラブ主催でミスコンを開催してもいいですね。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区  
地区ニュース 第4号(Spring号)

The  
Lions  
News

発行日 2012年3月20日

発行 PR・情報委員会

PR・情報委員会

委員長 梶原 正和(小金井)  
編集長 宇埜 正純(巣鴨)

編集委員 高尾 省吾(葵)  
奥山 貞夫(葛飾)  
和崎 健治(練馬)  
矢追 秀紀(ウエスト)  
柴田 誠(新都心)

編集委員 新田 尚志(麻布)  
後藤 裕文(法政)  
小森 康一(綾瀬)  
山口 聖之(中央南)  
桂 太郎(世田谷)  
鈴木 郁朗(新宿)  
佐藤 武雄(新都心)  
戸矢崎 哲(中野)

ライオンズクラブ国際協会  
330-A地区キャビネット事務局  
〒160-0023  
東京都新宿区西新宿7-10-17  
新宿ダイカンプラザB館2F  
TEL (03) 5330-3330  
FAX (03) 5330-3370  
E-mail cab@lions330-a.org